

令和4年度 駒沢レストラン売上還元事業実施一覧

15件

	実施箇所	事業内容	支出	
1	駒沢オリンピック公園	■地域・レストラン協力イベント実施 2018年度より実施している「駒沢ファンタジア」を恒例還元イベントとして実施した。令和2～3年度はコロナ禍で現地開催ができなかったが、令和4年度は3年ぶりに現地開催が実施し、多くの来場者で賑わった。	4,294,426円	
2	駒沢オリンピック公園	■レストラン前植栽のリニューアル 経年により衰退した箇所の補植のほか、レストラン近くのジャブジャブ池看板周り公園トイレ前の植栽をリニューアルした。レストランから公園トイレまで統一感のある植栽デザインが完成し、トイレのイメージアップにつながった。	786,500円	
3	深沢区民センター	■避難生活における健康維持のための講座 深沢まちづくりセンターと協働して「災害時のボランティア活動」をテーマに、深沢地域住民に向けて避難所運営を学ぶ講座を開催した。世田谷区避難所運営マニュアルの改正をふまえた解説と意見交換、元・防災士会東京支部長の松井正雄氏による講義、せたがや災害ボランティアセンターによる講義を行った。	31,470円	
4	駒沢オリンピック公園	■近隣町会等地域住民との合同訓練 公園で開催された周辺町会や消防署、消防団などによる合同防災訓練にて、近隣住民にレストランが備蓄している防災グッズの紹介やポータブル発電機の起動体験を行い、災害時にはレストランが徒歩帰宅者や地域住民向けの支援施設となる事を周知した。	—	
5	オンライン	■幼児、介護の必要な方など、支援の必要な方たちに特化した防災関連ワークショップ オンラインにて「あかちゃんとママを守る防災講座」を実施。東京都をはじめ全国の自治体や企業で防災プログラムを展開するNPO法人ママプラグを講師に迎え、災害時に乳幼児や女性に特に必要となる備えについて考える講座をレストラン店内から配信し、防災自助力の向上のアイデアを共有した。	58,300円	
6	—	■防災グッズの制作 大地震の発生時など、災害時にとるべき行動を紹介する手ぬぐいを作成し、防災イベントの参加者に配布することで防災力向上につながった。	445,500円	
7	駒沢オリンピック公園	■ Wi-Fi、防災備蓄品等買替・補充、レストラン前の植栽の維持管理等 レストランの防災機能維持のため、災害時でもつながりやすいWi-Fiや無線の配備、備蓄品の買替を行った。また、レストランのイベントで備蓄品の紹介を行いその取組みの周知に努めた。レストラン周辺の魅力アップのため植栽の維持管理を行った。	1,572,890円	

令和4年度 駒沢レストラン売上還元事業実施一覧

8	小山田緑地	■<u>里山維持形成に関する取組</u> 「こころのふるさとづくり」をテーマに、毎年行っているコメ作りの方法や、昔からの技術・伝統・文化等の資料を展示した。また、サービスセンターにミニチュア棚田や里山の特徴を再現した。都心に近い里山である小山田緑地の魅力を幅広い方々に知っていただき、緑地リピーターになってもらうことで、緑地の継続利用による活性化へつながった。	129,732円	
9	大神山公園	■<u>ビオ・アース映画祭</u> 映画館のない父島で、映画上映を通じて、小笠原の貴重な生き物やその営み・自然について海の豊かさを守る取組の普及啓発を行った。娯楽の少ない場所での映画上映を楽しんでいただきながら、自然に対する人間の影響などを学んでいた。	957,000円	
10	小峰公園	■<u>里山にぎわいプログラムの実施</u> 「多摩の里山見本園」をコンセプトに、地元農家、周辺施設との連携による秋の収穫祭を開催した。地域の賑わいの創出する事業として特産品販売を行ったり、農機具を使用した脱穀体験、写真展示・Youtubeでの動画配信を行った。魅力発信の向上をすることで、環境保護の普及活動の促進、来園者の満足度向上につながった。	698,182円	
11	武蔵野中央公園	■<u>ガーデンショー(花まつり)</u> 地元自治体、企業、教育機関、ボランティア等と連携したミニガーデニングショーとして、本物の花びらを使用したワークショップや花壇に関するクイズラリーなどを開催した。開催前には、地域住民協働で花文字花壇の作成をし、終了後も花壇ボランティアを募集し協働管理を行っていくことで、公園への愛着をより持っていただくことができた。	984,790円	
12	狭山公園	■<u>ミュージックライブ「おとのわ ひがしむらやま」</u> 「いつもの公園で、あたらしい日常体験」をコンセプトに、東村山市の企業等と実行委員会を形成し、狭山公園の自然環境を活用したイベントとして、狭山公園の自然と音楽を楽しむミュージックライブ＆音楽ワークショップイベントを行った。参加者の6割が市民、他市区が3割、都外が1割となり、地元東村山市を中心に地域と一体となったマイクロツーリズムの推進を図ることができた。	1,000,000円	
13	多摩丘陵3公園 (小山田緑地・小山内裏公園・桜ヶ丘公園)	■<u>多摩丘陵オリジナルキャラクターグッズ創出プロジェクト</u> 来園の記念品、お土産となるグッズを提供することで、愛着を持っていただけるように缶バッジやガチャポンを用意した。またPRキャラクター「たまきょうりゅう」の着ぐるみのツイートをきっかけに来園された方もおり、多摩丘陵の公園を知らなかった方にもPRすることができた。	994,451円	
14	神代植物公園	■<u>ボランティアとつくる宿根草のナチュラルスティック・ガーデン</u> 「東京パークガーデンアワード」のタイアップ企画として、ガーデンデザイナーの吉谷桂子氏による特別講演会を開催した。持続可能な宿根草ガーデンの魅力や神代植物公園の宿根草園のリニューアルデザインについて紹介し、「東京パークガーデンアワード」の普及啓発及び、新たな宿根草ガーデンの魅力を伝えることができた。	521,506円	
15	殿ヶ谷戸庭園	■<u>崖線散策のための「お楽しみ情報マップ」製作</u> 国分寺崖線周辺の散策マップを製作した。特に散策客の増える秋の行楽シーズンは、自然や史蹟等の見所のほか、休憩スポットや飲食店に関する問い合わせも多いため、このマップでは地域の庭園周辺の魅力を発信するとともに、来園者の利便性向上や地域振興にも寄与するものにした。来園者や、国分寺崖線散策ツアーにて配布した。	790,900円	